

第5学年〇組 国語科学習指導案

令和〇年〇月〇日（曜）〇校時

指導教諭 〇 〇 〇 〇 印

指導者 〇 〇 〇 〇 印

1 単 元 新聞の編集の仕方や記事の書き方に目を向けよう ―「新聞を読もう」―（C読むこと）

2 目 標

- （1）文章の構成について理解することができる。 [知識及び技能]（1）カ
- （2）情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 [知識及び技能]（2）イ
- （3）目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。 [思考力，判断力，表現力等] C(1)ウ
- （4）言葉がもつよさを認識するとともに，進んで読書をし，国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力，人間性等]

3 単元で取り上げる言語活動

新聞記事など複数の情報を読み，比較・分類・関係付けるなどして，分かったことや考えたことを報告する活動をする。（関連：[思考力，判断力，表現力等] C(2)ウ）

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文章の構成について理解している。(1)カ ②情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ	①「読むこと」において，目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けている。C(1)ウ	①粘り強く，情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使い，学習課題に沿って，情報を読んで活用しようとしている。

5 基 盤

- （1）本単元は学習指導要領の[思考力・判断力・表現力等]の内容 C読むこと(1)「ウ 目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりすること。」を受けて設定した。

新聞には、政治や文化、スポーツなど、様々な分野のニュースが掲載されている。本単元で中心となる教材「新聞を読もう」では、ノーベル賞受賞の記事と金環日食の記事が取り上げられている。ノーベル賞受賞の記事は、新聞の顔と言われる一面の構成や、新聞記事の「逆三角形の構成」と言われる一番重要な事柄を見出しで先に示し、リード文から本文へと次第に詳しく記述される記事の書き方の特徴が捉えやすい。金環日食の記事では、新聞記事を構成する要素（見出し、リード文、本文、写真・図表などの資料）が分かりやすく書かれており、「見出しとリード文」「見出しと写真」「リード文と本文」など要素同士のつながりを学ぶのに適した教材である。また、補助となる学習材では、松江市で10年に1度開催される伝統的な船神事“ホーランエンヤ”の記事を取り上げる。地元の地方紙など、様々な新聞記事を読んで確認することは新聞の構成を一般化させるのに有効であり、子どもにとって身近な題材を取り扱うことで、普段新聞に触れる機会の少ない子どもでも抵抗なく読むことができると考える。

新聞記事には書き手（記者）の意図が含まれており、同じ内容を取り上げた記事であっても、見出しの書き方や扱う資料等によって読者に与える印象が異なってくる。そのため、自分の目的に応じて必要な情報を意識し、摘読することが必要となる。本単元の学習を通して新聞の特徴を知ること、今後の生活の中でも、自分の目的に応じた効果的な読み方を身に付けることができると考える。

- (2) 本学級は、明るく活気にあふれた学級で、自分の興味・関心のあることに対して、積極的かつ熱心に取り組むことができる。また、本好きな子どもが多く、休み時間には読書に親しむ様子も多く見られる。新聞については、自宅や学校図書館などで地方紙の子ども版や「小学生新聞」などに目を通して子どもが数名いるものの、多くの子どもがテレビ欄や興味のあるスポーツ欄を見る程度にとどまっている。また、インターネットやテレビなどから情報を得ることが多く、新聞を読む機会が少ない子どももいる。

子どもは4年時に「新聞を作ろう」の単元において、書き手の立場から、知らせたいことが明確に伝わるように記事を書き、見出しや割り付けを考えて、読み手の興味をひく新聞を作るという学習をしている。本単元では、読み手の立場から、記事に印を付けたり線で結んだりすることで、写真・図表などの資料が文章のどの部分と結びつくのかという情報と情報との関係を明らかにしながら読むことで、目的に応じて必要な情報を見付けることができる姿を目指す。さらに、社会の出来事にも関心をもち、意欲的に新聞を読もうとする子どもの姿を期待したい。

- (3) 本単元の学習では、まず、文章全体の構成を捉えるために、新聞記事の構成要素が全て含まれている新聞の一面を扱う。一番重要な事柄を見出しで先に示し、リード文から本文へと次第に詳しく記述される記事の書き方の特徴（逆三角形の構造）を読み取っていく。次に、この特徴をおさえた上で、記者の意図と論の展開や資料（写真や図表等）との関係付け、効果的に伝えたいことが表現されているかについて考えていく。その際、情報と情報との関係を捉えることができるように、記事中の関連する語句と語句に印をつけたり線で結んだりする活動を行う。最後に、子ども自らが見出しや資料などに着目し、自分の目的に合わせて記事を選ぶことで、これまでに身に付けた情報と情報との関係を捉える力を自覚的に使えることができるようにしたい。

本時では、前時に学習した新聞記事の「逆三角形の構成」を活用しながら、同じ日・同じ出来事が掲載されている全国紙と地方紙の二つの新聞記事を比べながら読む。まず、見出しだけを提示し、記事の内容を推測することで、見出しのもつ効果を感じたり、記事の内容の違いに注目して読んだりすることができるようにしたい。また、同じ日・同じ出来事の記事でも、見出しや記

事の内容が違うのはなぜかと問うことで、書き手（記者）は読み手（対象）に合った情報を発信しようとしていることに気づかせたい。その際、記事中の関連する語句と語句に印を付けたり、線で結んだりするなど図示することによって、見出しとリード文、本文や資料等とのつながりを捉えることができるようにする。読み手（対象）が変わることで、記事の内容が変わってくることやその違いは見出しを見れば分かることなど、新聞記事の見出しや資料などに着目して読むと目的に応じて必要な情報を見つけられることが実感できるようにしていきたい。

6 展開と評価計画（全3時間）

次	時	◎ねらい ○学習内容	◇評価規準 ◆評価方法
第一次	1	◎新聞の構成について理解することができる。 ○新聞について知っていることについて話し合う。 ○自分たちが住んでいる地域の伝統行事（ホーランエンヤ）に関する新聞記事について、見出し、リード文、本文がどのような構成になっているのかを捉えながら読む。 ○新聞記事は「逆三角形の構成」であることを確認し、学習の見通しをもつ。	◇知・技① ◆ノート・発言 文章の構成についての記述の確認。
	2	◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ○二つの新聞記事の見出しから、記事の内容を推測する。 ○二つの記事を比べて読む。 ○実際の新聞記事を見出しや資料などに着目して読み、情報と情報の関係について確かめる。	◇知・技② ◆新聞記事・ノート・発言 新聞記事への書き込みと図などに表したものの内容の確認。 ◇主① ◆情報と情報の関係を捉えようとしているかの確認。
	3	◎目的に応じて必要な情報を見つけるために、新聞記事の見出しや資料などに着目して読み、内容を捉えることができる。 ○新聞記事の見出しや資料などに着目して新聞を読み、興味をもった記事を選ぶ。 ○選んだ記事を読んで意見や感想をまとめ、交流する。 ○学習を振り返る。	◇思・判・表① ◆新聞記事・ノート 必要な情報を見付けて図などに表したものの内容の確認。

7 本時の学習

- (1) 本時の目標 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知識及び技能)

(2) 展 開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と評価
1. 二つの記事の見出しを見て、記事の内容を推測する。 ・“神秘のリング 魅了”の記事では、美しさのことを書いているのだろう。 ・見出しに書いてある数字が全く違う。同じ日のことを伝えている記事なのになぜだろう。	・比べて読む視点をもつことができるように、同じ日の同じ内容の記事であることを確認する。 ・先に見出しだけを提示することで、見出しのもつ効果を感じたり、記事の内容の違いに注目して読み進めたりすることができるようにする。
見出しと記事の内容のつながりを見つけよう！	
2. 同じ出来事について書かれた2つの記事を比べて読む。 (1) 気づいたことや記事の内容の違いなどについて話し合う。 ・写真も違う。撮影された場所も違うようだ。 ・図があると仕組みが分かりやすいな。 ・一つの記事は京都や滋賀のことが中心に書かれている。もう一つの記事は“列島”と日本全体のことが書かれている。 (2) 記事中の関連する語句と語句に印をつけたリ線で結んだりして、情報と情報と関係付ける。 ・見出しに書いてあることがリード文につながっている。 ・本文には見出しやリード文のことがさらに詳しく書かれている。 3. 実際の新聞記事を読み、見出しと記事の内容について確かめる。 ・やっぱり、見出しに注目するとどんなことが書いてある記事なのかよく分かる。 ・本文には、見出しの内容が詳しく書いてあるからもっと知りたい時にじっくり読みたい。 4. 本時の学習を振り返る。 ・新聞を読む時、まず、見出しに注目して読むと記事の内容が分かるし、読みたい記事を選ぶことができる。これから新聞を読んだり情報を集めたりする時に使えそう。	・記事のどこからそう感じたのか、線を引いたり、理由を問い返したりすることで、根拠をもって考えたり話したりすることができるようにする。 ・記事の内容の違いにも気づくことができるよう、見出しや写真などの資料だけではなく、リード文や本文にも意識を向けることができるようにする。 ・情報の関係を捉えることができるように、印のつけ方やまとめ方のモデルを提示するようにする。 ・誰が読むのか（相手意識）、何のために読むのか（目的意識）などを問うことで、伝え方の違いに気づくことができるようにする。 ・実際の新聞でも確かめてみることで、見出しの効果について考えることができるようにする。 評価【知識・技能】 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 (新聞記事・ノート・発言) ・本時のめあての視点に沿ってふり返りを書くように言葉かけをする。

